



港区立白金小学校

学校だより



5月号

発行人 高山 直也

令和5年 5月1日

黄金(おうごん)の20分間

校長 高山 直也

新緑が目眩しい季節になりました。朝の空が真っ青で薫風が吹いていると、生きる力が湧いてきますね。生命の躍動感を感じる季節ですが、実は毎朝、私は最高の躍動パワーを感じています。

前朝8時からの20分間は、欠かすことのできない黄金の時間です。校長になって10年、特別な用事がない限り、毎朝門や玄関で子供たちに挨拶をしています。1日のパワーの源、珠玉の時間です。立ち話にならない限り、一人一人の目を見て、(時に手で合図しながら)、笑顔で挨拶をしています。毎日がドラマ、愛おしく生きる力が湧いてきます。一人一人の挨拶は全く違います。自分から笑顔で大きな声でしてくれたら最高ですが、か細い声でも、声にならないお辞儀でも、目線の動きだけの子ども、素敵な個性を感じ取れる瞬間です。パワーをくれた子には「ありがとう!」、「Thank you!」と返します。

「高山直也校長先生、おはようございますっ!」 (フルネーム!ありがとうっ!)
立ち止まって気を付けして、そして深々と頭を下げ… 「おはようございます。」 (す、すごい…(‘Д’))
「チャイム大丈夫?」 (じゃないかも…(-_-)) 「えーっ!」
「ふえっ、ふえっ、しくしく…」 (ママ、上まで一緒にどうぞー)
「校長先生、どうして昨日いなかったの?」 (あーで、こーで、…) 「わかんない♡」 (…)

挨拶の価値は絶大、お互いの気持ちが交錯して晴れやかになり、血の中の何かが活性化していきます。ほんの一瞬の連続ですが、私にとっては、伸び行く子供のもつ無限のエネルギーをもらえる幸せな時間です。白金の子は挨拶が素敵、そして躍動感に満ちています。お家でも、ぜひ笑顔で everyday!

特別活動について

特別活動主任 佐々木 亮太

「特別活動」では、集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を發揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、様々な資質・能力を育成していきます。活動内容は大きく4つ分けられます。

- 1 「学級活動」は各学級において、学級会での話し合い活動や係活動などを発達段階に合わせて設定していきます。
- 2 「委員会活動」は九つの委員会に分かれ、高学年の児童が協力し、学校生活の充実と向上を図るために、計画を立て役割を分担して活動していきます。
- 3 「クラブ活動」は、4～6年生の児童が協力し、共通の興味・関心を追求する集団活動の計画を立てて運営していきます。
- 4 「学校行事」は、全校または学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深めていきます。例えば、始業式や終業式といった儀式的な行事や健康安全・体育的行事である「運動会」などが挙げられます。

そして、来月から六年生を中心とした異学年交流活動である「プラチナタイム」が始まります。また、今年度は数年ぶりの「音楽会」も予定しております。児童一人一人が達成感や満足感をもって主体的に「特別活動」に取り組めるように、全力で指導していきます。



白金小学校
Twitter
毎日更新しています。
学校HPからも入れます。

